

MIRS 2105

プロジェクトテーマ報告

プロジェクトテーマ名：PhotoKEN

コンセプト

「テレワーク中も子供を”放っておけない”！」

放っておけない→ほっとけない→ほっとけん→ふおとけん
→PhotoKEN

Photo=写真→写真を利用して親を安心させる

KEN=犬→かわいい見た目で小さな子供も親しみやすく

何を実現したいのか

新型コロナウイルスによってテレワークがニューノーマルとなりつつある現代にあったロボット

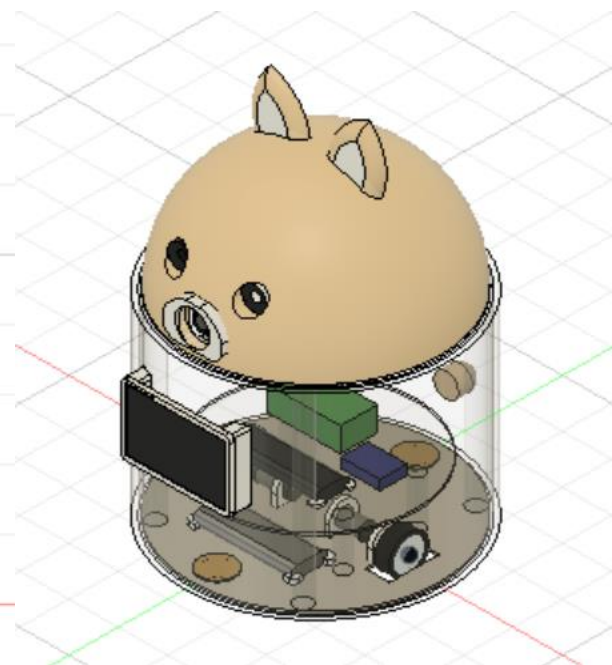
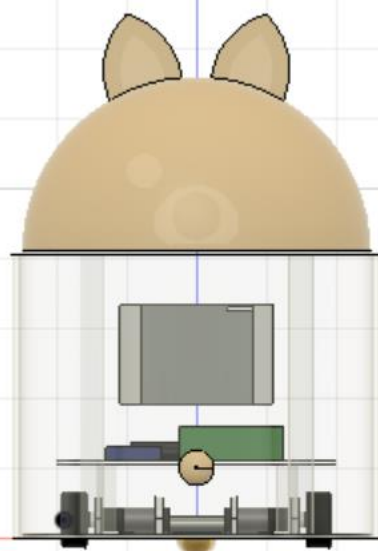
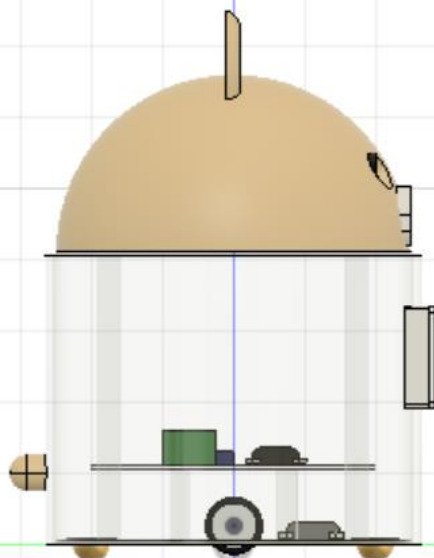
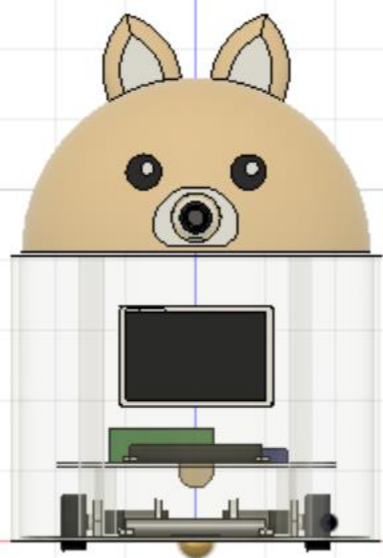
- ターゲット：3~6歳の子供を持ち、テレワークをしている親
- 現状：仕事と育児の両立が難しい

テレワーク中でも子供が大人しくしてくれない

目を離している間に子供が何をするか心配

- 目標：親が安心してテレワークに集中できる
 - 定期的に写真撮影(何をしていたかわかる&成長記録), 「サイレントモード」のON/OFFによって
 - “テレワーク中と普段とで違った楽しみ方が可能”
 - 子供が安全に楽しめる
 - 犬の見た目, 角をなくす, 集中して遊べるゲームを付属

イメージ図

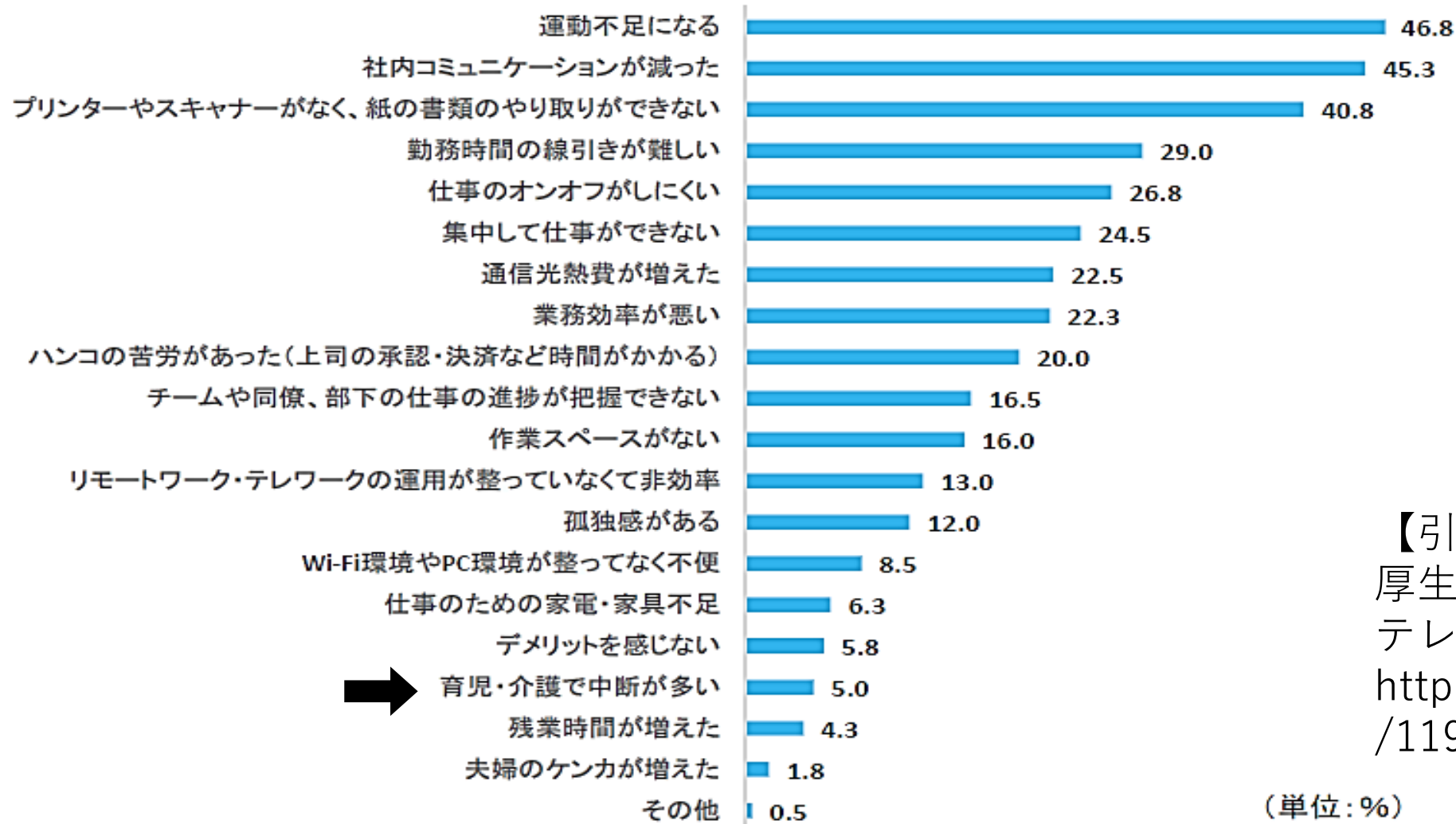


情報収集

テレワークで感じたデメリット（労働者調査）

Q4:テレワークで感じたデメリットを教えてください。

(n=400、複数回答)



【引用】

厚生労働省

テレワークを巡る現状について

<https://www.mhlw.go.jp/content/11911500/000662173.pdf>

(単位:%)

技術調査

GROOVE X株式会社

LOVEをはぐくむ家族型ロボット

「LOVOT(ラボット)」

～特徴～

ディープラーニングを含む機械学習
技術や声帯をシミュレーションした
デジタルシンセサイザー等の最新テ
クノロジーによって生命感を表現

～価格～

LOVOT1体

月々26,508円(税込)の36回払い

=954,288円



他のロボットとの差別化

最新テクノロジーを用いたロボットは凄いが、その分なかなか手が出しにくい価格になっている。PhotoKENプロジェクトのロボットは安心してテレワークに集中できるような機能に特化し、高価な最新技術を使用せずとも「子供が親しみやすい挙動」を実現させる。